

ジオパークの認定の考え方

● ジオパークの“認定”は“加盟”

ジオパークの認定とは、地域の地質や地形が優れていることを示すための仕組みではないことを最初に理解しなければならない。

日本ジオパークの認定とは、正確には“『NPO 法人 日本ジオパークネットワーク（以下 JGN）』への正会員加盟認定”のことである。すなわち、世界遺産や文化財のように場所や物の価値を認めるものとは異なり、活動団体の正式な会員になることを許されるものである。ユネスコ世界ジオパークの理念に共感し、団体の会員として共に活動する意思がある地域のみが新規認定へ申請するものである。地域資源の価値づけという効果を得ることはできないため、それを目的とするならば天然記念物等の文化財や国立公園等を目指すべきである。

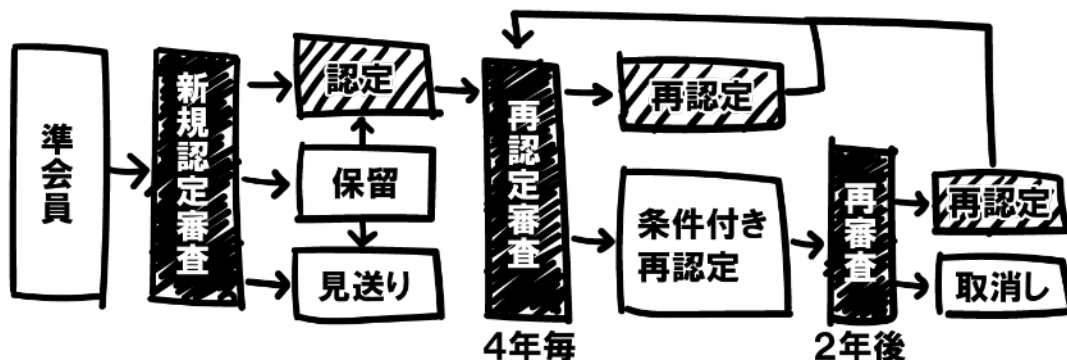


● “新規認定”と“再認定”

ジオパークは、書類や現地での聞き取りによる審査を経て、“新規認定”や“再認定”がなされる。新規認定は新たに JGN の正会員になる際に、再認定は JGN 正会員が活動継続のために受ける。その審査は各分野の専門家で構成されている日本ジオパーク委員会が行う。

新規認定の審査では、JGN の正会員として他の会員と共に活動していくことができる環境が整っているかを確認する。ジオサイトが適切に管理され、それに関わる地域のあらゆる人々が意識を共有し、運営が長期的な視野のもとで計画的に進められる体制にあるか、といったものである。

再認定の審査では、正会員としてのこれまでの活動と現在の状態を4年毎に確認する。現状よりもさらに良い状態に向かうための課題を洗い出すことができる機会でもある。活動の進め方やジオサイトの状態に重大な問題があれば、2年後に再度審査を行う条件付き再認定や正会員ではなくなる認定取り消しとなる。



● 審査を受ける心がまえ

ジオパークの審査は、どれだけ優れた地域であるか、ではなく、その地域が今よりもさらに良い地域になるためにどうしたらよいかという部分に焦点がある。審査員は、対象地域のさらなる発展の妨げとなっている事柄を見極め、適切な対処法を提案する能力をもった人物であり、地域の立場に立って一緒に考えてくれるはずである。

審査を受ける際は、自分の地域の発展のために課題を隠すことなく審査員に伝えるべきである。優れた点をアピールすることよりも、自ら課題を明確に認識し、その解決のためにあらゆる手段で取り組んでいることを伝えることの方が重要である。審査の際に重大な課題を隠し、審査員もそれを見逃してしまい、結果として地域の状況が悪化することの方が問題である。

また、新規認定審査の際には、JGNの正会員加盟を目指す理由（団体の会員としてどんな活動をしたのか）を最重要事項として明確に示すべきである。そもそも加盟認定であるため、それが定まらないうちは申請するべきではない。

【合わせて確認すべき資料】

- ◆ 申請要領
- ◆ 日本ジオパーク認定申請様式
- ◆ 日本ジオパーク審査過程（スケジュール表）
- ◆ 再認定審査報告書テンプレート
- ◆ 自己評価表
- ◆ ユネスコ世界ジオパーク ガイドライン

※全て日本ジオパーク委員会のホームページで公開されている。

<https://jgc.geopark.jp/howtoapply/index.html>